



Debate

“JET2015 八番勝負”

平成27年 2月20日(金)13:45~16:45

第2会場 (コングレコンベンションセンター Room 1+2)

第一番 SFA-CTOに対してはintraluminal angioplastyが王道である。

座長：井上 直人先生(仙台厚生病院／東京蒲田病院)
 Pro ▶ 宮下 裕介先生(信州大学医学部附属病院)
 VS
 Con ▶ 川崎 大三先生(森之宮病院)

第二番 SFA TASC AB病変に対する初回ステント治療はDESである。

座長：横井 宏佳先生(福岡山王病院)
 Pro ▶ 鈴木 健之先生(東京都済生会中央病院)
 VS
 Con ▶ 藤原 昌彦先生(岸和田徳洲会病院)

第三番 下腿動脈病変を合併したCLI症例の第一選択治療は血管内治療である。

座長：東 信良先生(旭川医科大学)
 Pro ▶ 宮本 明先生(菊名記念病院)
 VS
 Con ▶ 中村 隆先生(大阪労災病院)

第四番 EVTは循環器内科医の仕事である。

座長：中村 正人先生(東邦大学医療センター大橋病院)
 Pro ▶ 横井 良明先生(岸和田徳洲会病院)
 VS
 Con ▶ 大木 隆生先生(東京慈恵会医科大学)

平成27年 2月21日(土)9:00~12:00

第2会場 (コングレコンベンションセンター Room 1+2)

第五番 腹部大動脈に対するステントグラフト治療の限界はない。

座長：吉川 公彦先生(奈良県立医科大学)
 Pro ▶ 加藤 雅明先生(森之宮病院)
 VS
 Con ▶ 東浦 渉先生(沖縄県立中部病院)

第六番 ステント治療において、DFAへのstent jailingは御法度である。

座長：古森 公浩先生(名古屋大学医学部附属病院)
 Pro ▶ 北野 育郎先生(新須磨病院)
 VS
 Con ▶ 平野 敬典先生(済生会横浜市東部病院)

第七番 EVTは、SFA TASC Dの第一選択治療である。

座長：土谷 武嗣先生(金沢医科大学病院)
 Pro ▶ 山岡 輝年先生(松山赤十字病院)
 VS
 Con ▶ 高原 充佳先生(大阪大学大学院医学系研究科)

第八番 透析患者に合併したR6+感染症例はprimary amputationである。

座長：三井 信介先生(製鉄記念八幡病院)
 Pro ▶ 曾我 芳光先生(小倉記念病院)
 VS
 Con ▶ 笹嶋 唯博先生(江戸川病院)